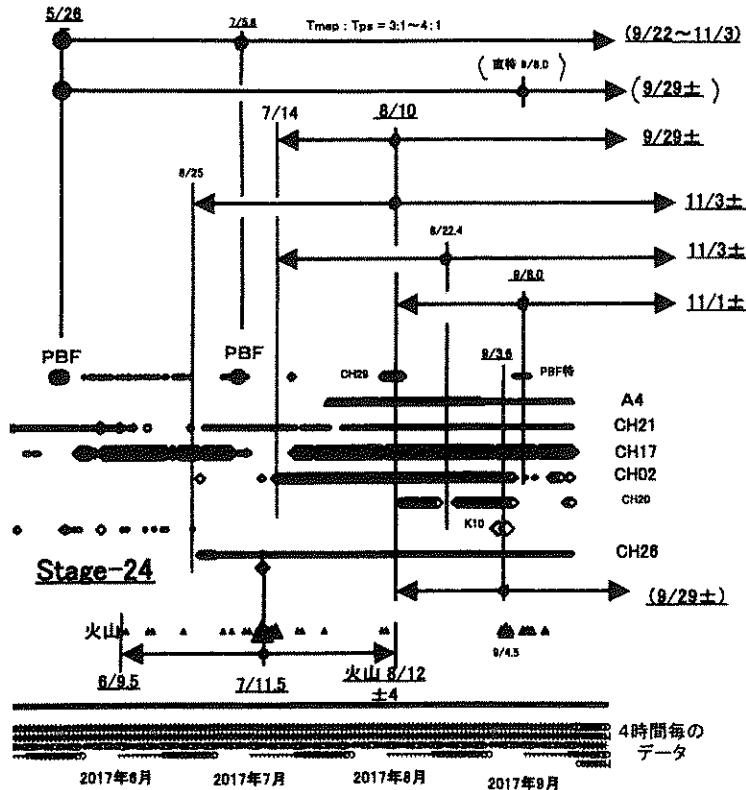


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆続報 前兆継続 発生迄まだ時間を要する可能性



2008年07月より段階的变化をしながら継続する長期継続特殊前兆 (過去の最長継続=3年3ヶ月を越える) No.1778の続報、現況報告です。

現在は第24ステージである認識です。前回までの報告では、現在の前兆がここ数日で終息した場合は、今月22日±を示す可能性も考えられましたが、左図 (No.1778 第24ステージ 前兆出現状況図) 及び表題のとおり、本日現在も継続していた前兆が引き続き継続出現しております。

このことから、少なくとも9/22±発生の可能性は否定されます。このことは、現在までの前兆関係 (初現~極大、極大~終息等) の認識に誤りがあったこととなります。

あらためて前兆関係を見直した結果、左図中に記したとおり、11/3±の可能性が示唆される様です。9/29±の可能性も若干考えられますが8/10極大認識に対する前兆終息変化が認められないため、11/3±の方が考えやすい様です。

今月末近くに前兆終息があった場合は今月末の可能性となりますが、10月上旬以降まで前兆が継続した場合は、10月末以降となる可能性が高いこととなります。

前兆終息変化が認められた場合は、続報でご報告させていただきます。

- ◆推定領域: 右図 点線領域内=大枠推定領域
太線内斜線領域=可能性が考えやすい推定領域 (火山近傍領域の可能性が示唆される)
※前兆出現観測装置の影響局推定より経験式を使用して求めた
- ◆推定規模: M7.8 ± 0.5 (震源深さ30km以内の地殻地震)
※複数出現した連続BF (PBF前兆波形の出現継続時間より算出)
- ◆推定時期: 前兆完全終息後に計算、推定予定
現状: 11/3±の可能性も示唆される
- ◇地震発生推定時刻: 午前09時 ± 1時間
(又は午後06時 ± 3時間)
※複数出現した基線幅増大BTの日々変化時刻より測定

